

12月の園だより

学校法人 鶴来学園
鶴来第一幼稚園

早いもので今年も残すところあと僅かとなりました。それにしても今年は災害が多い年でした。昨年末から2月にかけて全国で異常な低温となり各地で観測史上最低を記録、福井県では平年の6倍もの積雪があり国道8号線で車1500台が立ち往生、石川県でも五六豪雪（昭和56年）以来37年振りの記録的な大雪となりました。その最中の1月23日には群馬県の白根山が噴火し死傷者も出ました。4月には島根県西部地震、6月には大阪市北部地震、7月には11府県を襲った西日本豪雨、そして厳冬だった冬とは真逆に夏にはこれまでに経験したことのないような酷暑となり、埼玉県熊谷市では41.1℃と日本の最高気温を更新しました。9月4日には25年ぶりに非常に強い勢力で上陸した台風21号が西日本を縦断し、関西空港では滑走路が水没、強風に煽られ漂流した大型の燃料輸送船が空港の連絡橋に衝突する様子が報道され、6日に起こった北海道胆振東部地震では、この台風の大雨による影響で明治以降で日本最大規模の土砂崩れが発生、全道で停電するなど各地に大きな爪痕を残しました。全国的に災害が頻発する中、幼稚園では自由登園や保育時間の短縮など臨時的対応をしたり、一部の大型遊具が風で園庭の真ん中まで飛ばされていたということはありませんでしたが、特に大きな事故もなくこうして無事に園児やご家族のみなさんと共に師走を迎えられることに感謝したいと思います。

さて今年、ほぼ10年に一度行われる学習指導要領の改訂の年でした。教科書の検定などがある小学校以降の学校では移行期間があり小学校では2020年4月～、中学校は2021年4月～全面実施となりますが、幼稚園は今年4月から即全面実施ですので、今年がその指針に沿った教育活動を再構築する年となりました。それは単に学習指導要領（幼稚園教育要領）の指針に沿うということだけではなく「変化の激しい時代に予測される未来において、人間が必要とする能力とは何なのか？」という教育の大前提を問い直すことであり、今やそれは世界共通の教育課題ともなっています。それに伴って学校や教師（特に小学校以降の）に求められるものも大きく変わりました。幼稚園ではもともと教科学習という考えはなく具体的、直観的な生活上の事実や事柄を教材として子どもの自発的、作業的な活動や遊びを重視してきましたが、その時に大切なのは「配慮に満ちた環境」です。教師は教えるのではなく、一人ひとりの子どもが本来持っている個性を伸ばす環境や、その子の持つ力を発揮する場を設定して可能性を導き出すのに手を貸し、その取り組みでの子どもたちの成長の姿と、何をどう学んだかということを保護者の方と共有することがこれまで以上に求められるようになりました。

11月に金沢市の兼六小学校で「小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会」の全国大会がありました。英語や道徳の教科化、アクティブラーニングへの取り組みなど、小学校での授業の様子もずいぶんと様変わりし、2020年4月～の新要領全面実施に向けてずいぶんと頑張っているなあ～というのが率直な感想です。私は主に幼小連携（幼稚園で学んだことが小学校以降の学びへといかにスムーズに接続させていくか？）の視点で、一年生の生活科におけるスタートカリキュラムの公開授業とその授業討議に参加してきましたが、幼稚園の入園から高校卒業までの15年間の学びの連続性と小学校との接続を意識した3年間の幼児教育を行うと同時に、幼児教育において培われてきた資質・能力を活かして、生活科を中心とした各科・関連的指導を1年生の最初のみならず、低学年全体で実施していくことが出来るような連携や取り組みを地域の小学校と幼稚園（こども園や保育園も一緒に）で行っていくことが、鶴来地区全体の教育力を高めるために必要であると思いました。クリスマス表現会が終わるといよいよ次年度のカリキュラム（教育課程）を検討する時期となります。未来に向かって今を生きる子どもたちにとって今、何が最善か？という視点で教員が全員参加し、熟議を重ねて見直しを図り、少しでもより良い幼児教育を提供できるよう来年も取り組んでまいります。

本年も幼稚園の教育活動にご理解とご協力を頂きありがとうございました。新しい年が園児の皆さんとご家族、そして大切な方にとって素晴らしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

幼稚園統括園長
中嶋 謙仁

12月の指導計画

幼稚園では各クラスの担任が下記の指導案に基づき、子どもたちの学びと育ちをサポートしています。各ご家庭においても下記（今月のねらい）をご理解いただき「今日は幼稚園でどんなことをしたの？」など、お子さまとコミュニケーションしたり、同様の視点でお子さまと接していただくことで、お子さまの成長を感じて頂ければと思います。

- 年長 友だちと一緒に共通の目的に向かって協力し合い、やりとげる満足感を味わう
初冬の自然の変化や季節の行事、町の変化に関心を持ち、遊びや生活に取り入れて楽しむ
- 年中 友達と一緒に音に合わせて踊ったり、役になりきって演じたりして、表現することを楽しむ。
遊びの中で自分の気持ちや考えを言葉で伝えようとする
身近な自然の変化に気づき、冬の訪れに興味を持つ
- 年少 親しみのあるお話を自分たちで表現したり、曲に合わせて踊ったりすることを楽しむ。
先生や友達と一緒に遊ぶことや、簡単な言葉のやりとりを楽しむ。
- 未満児 リズムや音楽に合わせて、自分なりに表現することを楽しむ
季節の行事に興味・関心を持つ

子どもの姿（11月）

（年長）・最近なぜか自主的に不審者訓練をしている年長さん。水筒を首からぶら下げ、『せんちょうさん』（みんなの指揮をとる役みたいです。）が「並べ！」「あっちへ逃げろ！」と指示を出し、みんなで日々訓練に励んでいます！
・ダンスの練習で男の子と女の子で時間がズレてしまい、今日は女の子だけで給食を食べることになりました。始めは近くの友達と何気ないおしゃべりをしていたのですが、途中からみんなで好きな子の話に。子：「私好きな人2人いる～」子：「私4人！」先：「えっ?!好きな人って1人じゃないの？」話しているうちに同じ子を好きなことがわかり、子：「じゃあ、ジャンケンで決めれば？」子：「〇〇くんは△△ちゃんと結婚するんだって」子：「じゃあ、□□くんがいいよ」・・・男の子にも選ぶ権利はあると思うのですが…。女子トークでした♪

（年中）・11月の1週目、絵本から想像するイメージから・・・絵本「ぐりとぐら」のおいしそうに食べているカステラを作ってみました。先生が作ったふわふわのカステラをみんなで試食すると「作ってみたいなあ・・・」と楽しみにしている子がほとんどでした。絵本「しろくまちゃんのホットケーキ」をちょうど家からもって来てくれていたT君に絵本を借りてみんなで作り方をおさらい。クッキングでは、小麦粉や砂糖を入れるのも子ども達。卵を割って混ぜるのはお手伝い等で家庭で経験がある子が担当したり、焼く順番は背の順になっていたりなど子どもたちの中でルールを決めている姿がみられていました。生地を焼くのもひっくり返すのも自分たちのタイミングで。もちろん自分で焼いたカステラは自分で食べました。おかわりもいっぱいありましたがあつという間に売り切れでした！「いい匂いしとる」「おいし～」「お家でお母さんと一緒に作ってみたいなあ～」子どもたちのわいわい賑やかな話声がとても可愛かったです。身近な絵本を題材にクッキングをしたことでお話しに更に親しみを持てるいい機会になりました。

（年少）・待ちに待った草履デビュー！初めは、指が思うように開くことができず、履くのに時間がかかっていましたが、今では手伝いがなくても自分で履けるようになりました。お兄ちゃん、お姉ちゃんになったような気分で、喜んで履いています。
・園庭の遊具が塗装のため、真っ白に塗られたのを見て、「白くなった！」「なんでなんで!？」と驚いていた子ども達。「あ、分かった！もうすぐ冬だから白いジャンパー着てるんじゃない？」と、冬の訪れを感じて、そのような言葉が出てきたのかな？とても可愛らしかったです♪

（満三歳児）・表現会に向けての練習が始まったつくし組さん。初めての表現会なので、「幼稚園にサンタさんも見にくるからねー」とお話ししたからか、初舞台練習でプレイルームに入った瞬間、天井を見上げて「サンタさ～ん」「サンタさ～ん」とみんなが言うので可愛くて笑ってしまいました♡こちらも合わせて「サンタさ～ん、みててねー!」「サンタさ～ん、上手やったー?」と天井を見上げて、言いながら毎日の練習を楽しんでいます♪本番はサンタさんからプレゼントをもらいます！どんな表情を見せてくれるのかな？楽しみです(^)